

授業科目名	心理学
授業科目名(英)	Psychology
教員名	福田 みのり
開講年度学期	2021年度 前期
曜日時限	木曜3限
開講学科	工学部 機械工学科
授業形態	
単位数	2.0
学年	1~3年
科目区分	一般科目(人間科学) 講義・演習
単位区分	選択
JABEE修得要件	
教職課程修得要件	
授業概要	人間の心はどのような仕組みをもち、どのような働き方をするのであろう。実体のない対象をどう捉えられるのか。モノ、ヒト、コトにどうかかわり、どう対応していこうとしているのか。心理学の書物を読んでみても、人の具体的な個別的な心理について書かれていることは少ない。そんな疑問に答えたい。心の世界に科学的に迫ることの面白さと難しさを伝える。
達成目標	心を科学的に理解できるようなることを目標とする。そのための具体的な目標として、以下のものを置く。 1. 心理学において使用される専門学術用語、概念、理論などを理解できる。 2. 私たちの日常体験を1と関連させ、記述したり説明したりできる。 3. 1や2をふまえて、心理学を学ぶことの意味について自分なりに考えることができる。
学習教育目標	
成績評価方法	達成目標事項について、演習・小問(15点)、試験(50点)、レポート(35点)の合計に応じて以下のように評価を与える。 S: 90~100点、A: 80~89点、B: 70~79点、C: 60~69点、D: 59点以下不合格 演習・小問については毎回の授業で提出するコメントカードへの取組により評価する。 達成目標1と2について試験を課し、達成目標3についてレポートを課す。 試験及びレポートの詳細については、授業中に指示する。 再試験: 無
教科書	「心理学へのいざない」 福田廣・名島潤慈(監) 北大路書房 授業レジュメについては、適宜配布する。
参考書	必要に応じ資料配布
履修上の注意	金曜日7・8時限開講、後期開講予定の「心理学」と同じ内容のため、どれかを履修すること。
科目の位置づけ	目標A:【心理学】、論理学、環境論、国際事情、健康科学 等⇒卒業研究
	<p>【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。</p> <p>第1回: 心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること</p> <p>第2回: 心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解</p> <p>第3回: 感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性</p> <p>第4回: 知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム</p> <p>第5回: 記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか 記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶</p> <p>第6回: 記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ</p> <p>第7回: 学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化</p> <p>第8回: 学習と動機づけ - どのようにしてやる気が生じたり減じたりするのか 観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因</p> <p>第9回: 動機づけの複雑さ 学習性無力感、エンハンス効果とアンダーマイニング現象</p> <p>第10回: 思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか 論理的思考、知能モデル、知能指数</p> <p>第11回: 知能と性格 - 「その人らしさ」とはどういうことか 類型論、因子論、性格測定</p> <p>第12回: 臨床心理 - 個別的な心理理解と不適応への援助をどのように行うのか 意識と無意識、心理療法</p> <p>第13回: 社会心理(1) - 他者による影響や他者認知けのようなまの</p>

授業計画

- 第13回：社会心理 (1) 他者による影響や他者認知はどのように作用するか  
社会的促進と社会的手抜き、同調行動、認知的不協和理論
- 第14回：社会心理 (2)  
援助と攻撃、囚人のジレンマ、差別と信頼
- 第15回：定期試験  
第1回から第14回までの授業内容の達成度を確認
- 第16回：定期試験の解説と振り返り

オフィスアワー 火曜日 16:20~17:50, 木曜日 14:40~16:10 4号館研究室

注意 特になし

ナンバリングコード EL9102005

授業コード 99FM050

授業科目名	心理学
授業科目名(英)	Psychology
教員名	福田 みのり
開講年度学期	2021年度 前期
曜日時限	金曜4限
開講学科	工学部 機械工学科
授業形態	
単位数	2.0
学年	1~3年
科目区分	一般科目(人間科学) 講義・演習
単位区分	選択
JABEE修得要件	
教職課程修得要件	
授業概要	人間の心はどのような仕組みをもち、どのような働き方をするのであろう。実体のない対象をどう捉えられるのか。モノ、ヒト、コトにどうかかわり、どう対応していこうとしているのか。心理学の書物を読んでみても、人の具体的な個別的な心理について書かれていることは少ない。そんな疑問に答えたい。心の世界に科学的に迫ることの面白さと難しさを伝える。
達成目標	心を科学的に理解できるようなることを目標とする。そのための具体的な目標として、以下のものを置く。 1. 心理学において使用される専門学術用語、概念、理論などを理解できる。 2. 私たちの日常体験を1と関連させ、記述したり説明したりできる。 3. 1や2をふまえて、心理学を学ぶことの意味について自分なりに考えることができる。
学習教育目標	
成績評価方法	達成目標事項について、演習・小問(15点)、試験(50点)、レポート(35点)の合計に応じて以下のように評価を与える。 S: 90~100点、A: 80~89点、B: 70~79点、C: 60~69点、D: 59点以下不合格 演習・小問については毎回の授業で提出するコメントカードへの取組により評価する。 達成目標1と2について試験を課し、達成目標3についてレポートを課す。 試験及びレポートの詳細については、授業中に指示する。 再試験: 無
教科書	「心理学へのいざない」 福田廣・名島潤慈(監) 北大路書房 授業レジュメについては、適宜配布する。
参考書	必要に応じ資料配布
履修上の注意	木曜日5・6時限開講、後期開講予定の「心理学」と同じ内容のため、どれかを履修すること。
科目の位置づけ	目標A:【心理学】、論理学、環境論、国際事情、健康科学 等⇒卒業研究
	<p>【授業外学習の課題】  復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。</p> <p>第1回: 心理学とは(1)  授業についてのオリエンテーション  「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること</p> <p>第2回: 心理学とは(2)  心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解</p> <p>第3回: 感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるのか  こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性</p> <p>第4回: 知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか  図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム</p> <p>第5回: 記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか  記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶</p> <p>第6回: 記憶(2)  忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ</p> <p>第7回: 学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか  条件付け、強化、般化と分化</p> <p>第8回: 学習と動機づけ - どのようにしてやる気が生じたり減じたりするのか  観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因</p> <p>第9回: 動機づけの複雑さ  学習性無力感、エンハンス効果とアンダーマイニング現象</p> <p>第10回: 思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか  論理的思考、知能モデル、知能指数</p> <p>第11回: 知能と性格 - 「その人らしさ」とはどういうことか  類型論、因子論、性格測定</p> <p>第12回: 臨床心理 - 個別的な心理理解と不適応への援助をどのように行うのか  意識と無意識、心理療法</p> <p>第13回: 社会心理(1) - 他者による影響や他者認知けのようなまの</p>

授業計画

- 第13回：社会心理 (1) 他者による影響や他者認知はどのようなものが社会的促進と社会的手抜き、同調行動、認知的不協和理論
- 第14回：社会心理 (2) 援助と攻撃、囚人のジレンマ、差別と信頼
- 第15回：定期試験  
第1回から第14回までの授業内容の達成度を確認
- 第16回：定期試験の解説と振り返り

オフィスアワー 火曜日 16:20~17:50, 木曜日 14:40~16:10 4号館研究室

注意 特になし

ナンバリングコード EL9102005

授業コード 99FM051

授業科目名	心理学
授業科目名(英)	Psychology
教員名	福田 みのり
開講年度学期	2021年度 後期
曜日時限	金曜4限
開講学科	工学部 機械工学科
授業形態	
単位数	2.0
学年	1~3年
科目区分	一般科目(人間科学) 講義・演習
単位区分	選択
JABEE修得要件	
教職課程修得要件	
授業概要	人間の心はどのような仕組みをもち、どのような働き方をするのであろう。実体のない対象をどう捉えられるのか。モノ、ヒト、コトにどうかかわり、どう対応していこうとしているのか。心理学の書物を読んでみても、人の具体的な個別的な心理について書かれていることは少ない。そんな疑問に答えたい。心の世界に科学的に迫ることの面白さと難しさを伝える。
達成目標	心を科学的に理解できるようなることを目標とする。そのための具体的目標として、以下のものを置く。 1. 心理学において使用される専門学術用語、概念、理論などを理解できる。 2. 私たちの日常体験を1と関連させ、記述したり説明したりできる。 3. 1や2をふまえて、心理学を学ぶことの意味について自分なりに考えることができる。
学習教育目標	
成績評価方法	達成目標事項について、演習・小問(15点)、試験(50点)、レポート(35点)の合計に応じて以下のように評価を与える。 S: 90~100点、A: 80~89点、B: 70~79点、C: 60~69点、D: 59点以下不合格 演習・小問については毎回の授業で提出するコメントカードへの取組により評価する。 達成目標1と2について試験を課し、達成目標3についてレポートを課す。 試験及びレポートの詳細については、授業中に指示する。 再試験: 無
教科書	「心理学へのいざない」 福田廣・名島潤慈(監) 北大路書房 授業レジュメについては、適宜配布する。
参考書	必要に応じ資料配布
履修上の注意	前期開講予定の「心理学」と同じ内容のため、どれかを履修すること。
科目の位置づけ	目標A:【心理学】、論理学、環境論、国際事情、健康科学 等⇒卒業研究
	<p>【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。</p> <p>第1回: 心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること</p> <p>第2回: 心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解</p> <p>第3回: 感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性</p> <p>第4回: 知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム</p> <p>第5回: 記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか 記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶</p> <p>第6回: 記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ</p> <p>第7回: 学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化</p> <p>第8回: 学習と動機づけ - どのようにしてやる気が生じたり減じたりするのか 観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因</p> <p>第9回: 動機づけの複雑さ 学習性無力感、エンハンス効果とアンダーマイニング現象</p> <p>第10回: 思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか 論理的思考、知能モデル、知能指数</p> <p>第11回: 知能と性格 - 「その人らしさ」とはどういうことか 類型論、因子論、性格測定</p> <p>第12回: 臨床心理 - 個別的な心理理解と不適応への援助をどのように行うのか 意識と無意識、心理療法</p> <p>第13回: 社会心理(1) - 他者による影響や他者認知けのようなまの</p>

授業計画

- 第13回：社会心理 (1) 他者による影響や他者認知はどのように作用するか  
社会的促進と社会的手抜き、同調行動、認知的不協和理論
- 第14回：社会心理 (2)  
援助と攻撃、囚人のジレンマ、差別と信頼
- 第15回：定期試験  
第1回から第14回までの授業内容の達成度を確認
- 第16回：定期試験の解説と振り返り

オフィスアワー 火曜日 16:20~17:50, 木曜日 14:40~16:10 4号館研究室

注意 特になし

ナンバリングコード EL9102005

授業コード 99FM052